

令和2年度移住促進団体活動推進事業

**オンラインで岐阜の働き方に出会う  
Uターン促進事業**

2021.2.24

一般社団法人サステナ

# 事業目的

---

## 1 コロナ禍における移住促進や関係性構築の オンライン対応

昨年度末時点：物理的な移動や人との接触が制限され、岐阜県を訪れることができない状況であった。今後も同様が続くことが予想された。

## 2 Uターン支援をどのように進めていくのか？ 課題や可能性をあぶりだすこと

昨年度末時点：コロナの影響でUターンへの関心が高まることが予想された。

# 実施内容

---

- 1 オンライン活用勉強会の開催**  
2020年8月11日（火） 13:15～15:00 @ZOOM+Remo
- 2 オンライン交流会の開催**  
2020年9月26日（土） 19:30～21:30 @ZOOM
- 3 オンライン帰省ツアー（1泊2日）の開催**  
2020年12月27日（日） 15:00～12月28日(月)9:00 @ZOOM
- 4 振り返り報告会の開催**  
2021年1月29日（金） 19:30-20:30 @ZOOM

# 1 オンライン活用勉強会の開催

2020年8月11日（火） 13:15～15:00 @ZOOM+Remo

SMOUT



対 象：移住促進団体及び市町村担当者

内 容：オンライン移住セミナー実践に向けた勉強会

- コロナ禍における各地の取り組み事例紹介  
（講師：移住と関係人口マッチングサービス「SMOUT」ディレクター中村 圭二郎氏）
- オンラインセミナーの企画、実施、広報について解説
- オンラインを活用したイベント、説明会等の実施事例（講師：NPO法人G-net 掛川氏）
- ビデオ会議ツール「remo（リモ）」の解説（講師：N高 林氏）

## 2 オンライン交流会の開催

山支那にあたらしく友達を

オンライン交流会

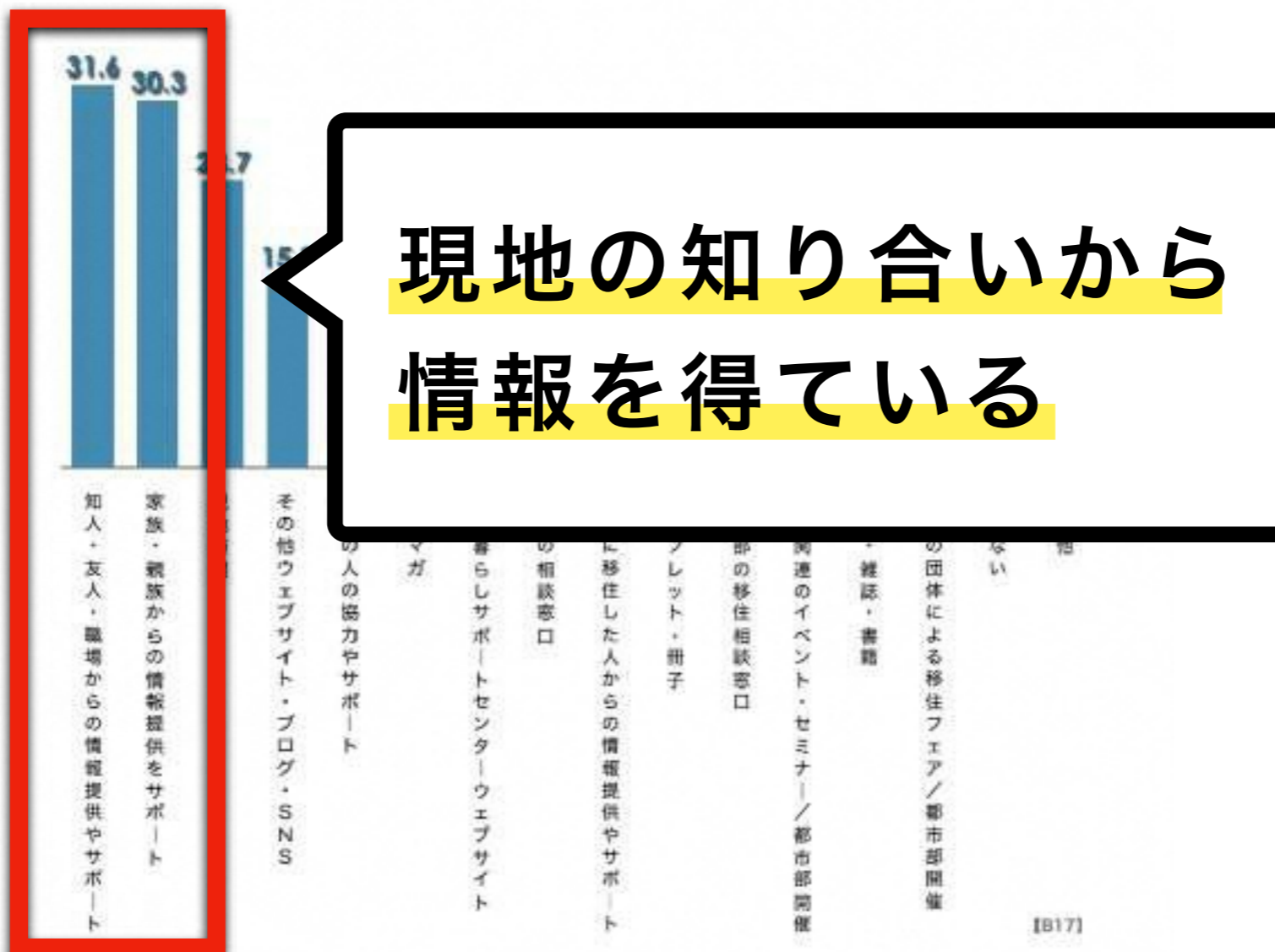
9.26(土) 19:30~

ぜひ  
ご覧になりながら  
お聞きください



QRコードから  
ウェブサイトへ  
飛べます！

Q. 移住や移住先の地域情報は、どのように得ていましたか？ (複数回答) (n=26)



【タイプ別 情報入手方法】



Q. 移住するときに一番不安だった事は？ (n=75)

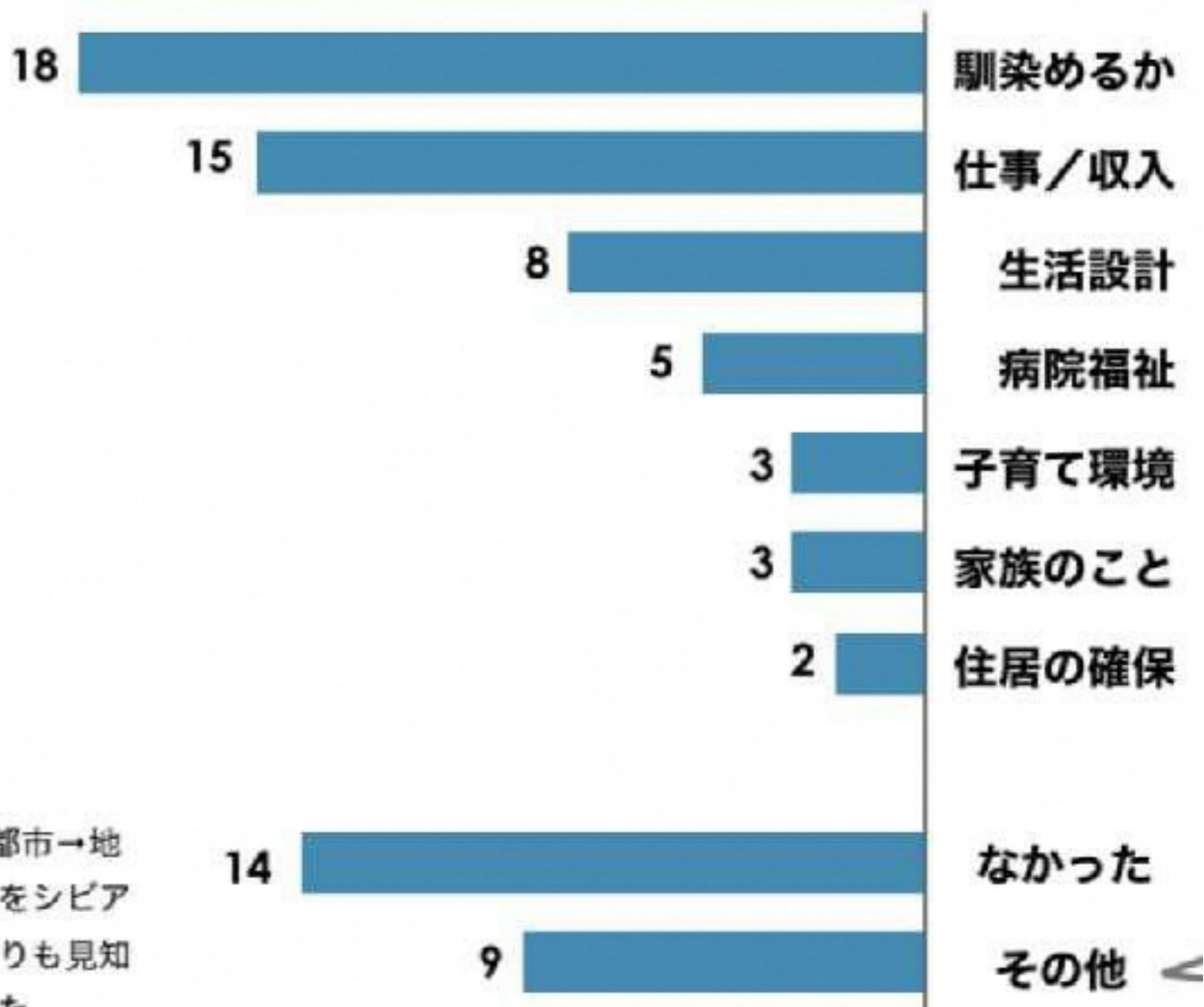
**Uターン**

1. 仕事のこと (収入) 9人
2. なかった
3. 生活設計

**Iターン・嫁ターン**

1. 移住先に馴染めるか 18人
2. なかった
3. 仕事のこと (収入)

Uターン者の方が金銭面に関する不安が大きく、都市→地方による収入ダウン+今後の子育てでかかる負担をシビアに考えていたようだ。移住者は、金銭面の不安よりも見知らぬ土地で暮らしていくことへの不安が大きかった。



# 企画ポイント

---

- ・小部屋に分かれてトークする
- ・事前に交流テーマを選んでもらう  
(当日変更もあり)
- ・1部屋の人数は最大5名

**オンラインで突然打ち解けるのはスキルが必要**

**参加者は自分の話を聞いてほしい・しゃべりたい**



「岐阜、戻らなきゃダメ」部屋

家族の事情や長男長女だから等めちゃうちゃ戻りたいわけじゃないけれど、なんとなく感じる責任感。いつかは…ね…。わかっているんだよ…という人々が集う部屋。

「家業を継ぐ宿命」部屋

親の家業をいつかは自分が継がなきゃいけないんだろうな、とか思っている方と、すでに戻ってきている人が話す部屋

「岐阜で  
やりたいことがある！」部屋

岐阜だからこそできることを岐阜でしたい！と思っている方が集う部屋。前向き系な方はこちらへ！！

「なんとなく  
都会の暮らしにモヤモヤ」部屋

このまま都会の暮らしを続けるのかな？いつか帰りたい気もするけど。。とモヤモヤしている気持ちを話す部屋

「地元就職したい！」部屋

市役所など公務員や、銀行、JAなどに就職して戻ってきた人はやっぱり実際多い。岐阜でそんな職業についている人としゃべる部屋

「パートナーが岐阜の人」部屋

パートナーが岐阜出身でいつかは岐阜へ住むことになるかも…？と思っている人の部屋

「アラサー 独身」部屋

岐阜で独身って肩身狭くない？と思っている人がわいわい愚痴を言ったりする部屋

「わいわい 雑談」部屋

どのテーマにあてはまるかわからないけれど、とりあえず岐阜出身者や岐阜に住んでいる人と話したい人が集う部屋

# 岐阜側スピーカー



園原 麻友実



鈴木 亘



中桐 由起子



百瀬 実希



佐々木 克哉



中垣 野歩



石田 洋平



佐藤 亜弥美



樋口尚敬



高野雅夫



東恵理子



吉村 晃承



洞 有紀



深見 賢哉



長縄 尚史

# 岐阜側スピーカー

## プロフィールには 今の仕事紹介＋ Uターン経緯や動機を記載

岐阜県中津川市在住、中津川市出身、イチゴ農家の長男。神奈川の不動産会社で10年間勤務の後、「ものづくりがしたい」「うちのイチゴを継いでいかないと」と、親に言われた訳でも無いのに勝手に宿命を感じ3年前にUターン。地域の農業を盛り上げたいとやはり勝手に思って色々活動中！

岐阜県岐阜市在住。大阪・兵庫生活→27歳でUターン。「東海3県を出たら誰も岐阜の場所なんて知らんぞ！」に興味を持って県外へ。ほんとにそうだなと確認しながらサラリーマンをしてましたが、会社を辞めることになって、親のことも考え岐阜へ。趣味のカフェ巡りをきっかけに飲食業の世界に入りいつの間にか独立。コロナに負けずゆるっと営業中。

岐阜県恵那市在住、中津川市出身。上京し悶々とした20代、どうしても東京で家族を持つイメージがわかず30歳でUターン。介護の仕事をしつつ、コーヒー好きが高じてイベント出店やコーヒー講座を開いています。家族ができ毎日楽しい40代！



☆mariko yamazaki

百瀬 (サブ)

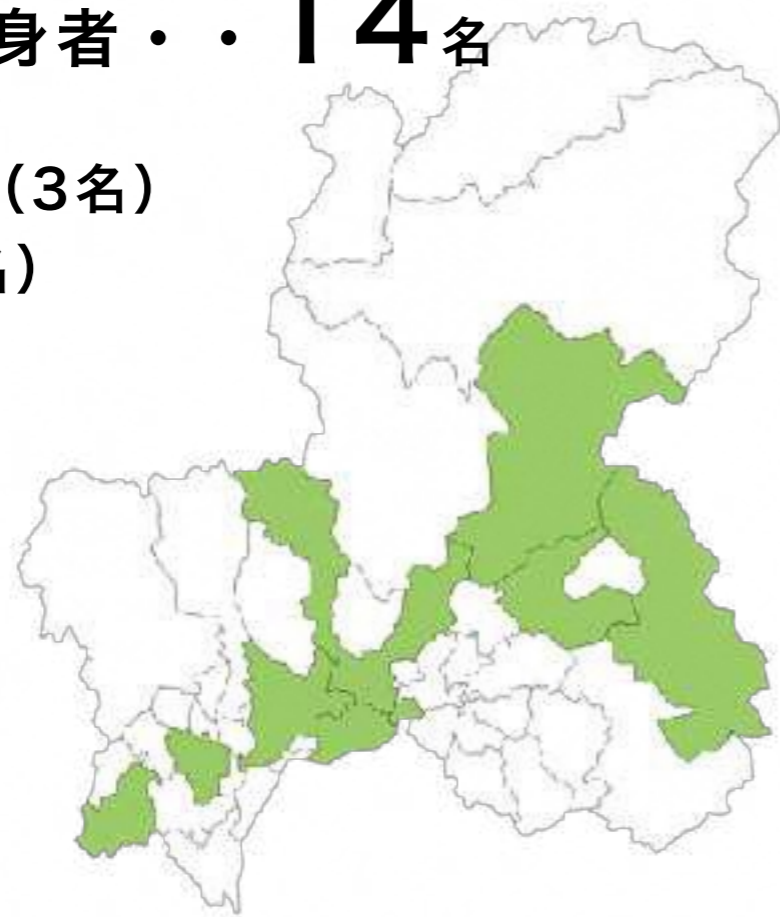
下村 恭子

# 参加者属性

## 出身地

岐阜県出身者・・・14名

- ・中津川市 (3名)
- ・関市 (2名)
- ・各務原市
- ・下呂市
- ・岐阜市
- ・大垣市
- ・白川町
- ・坂祝町



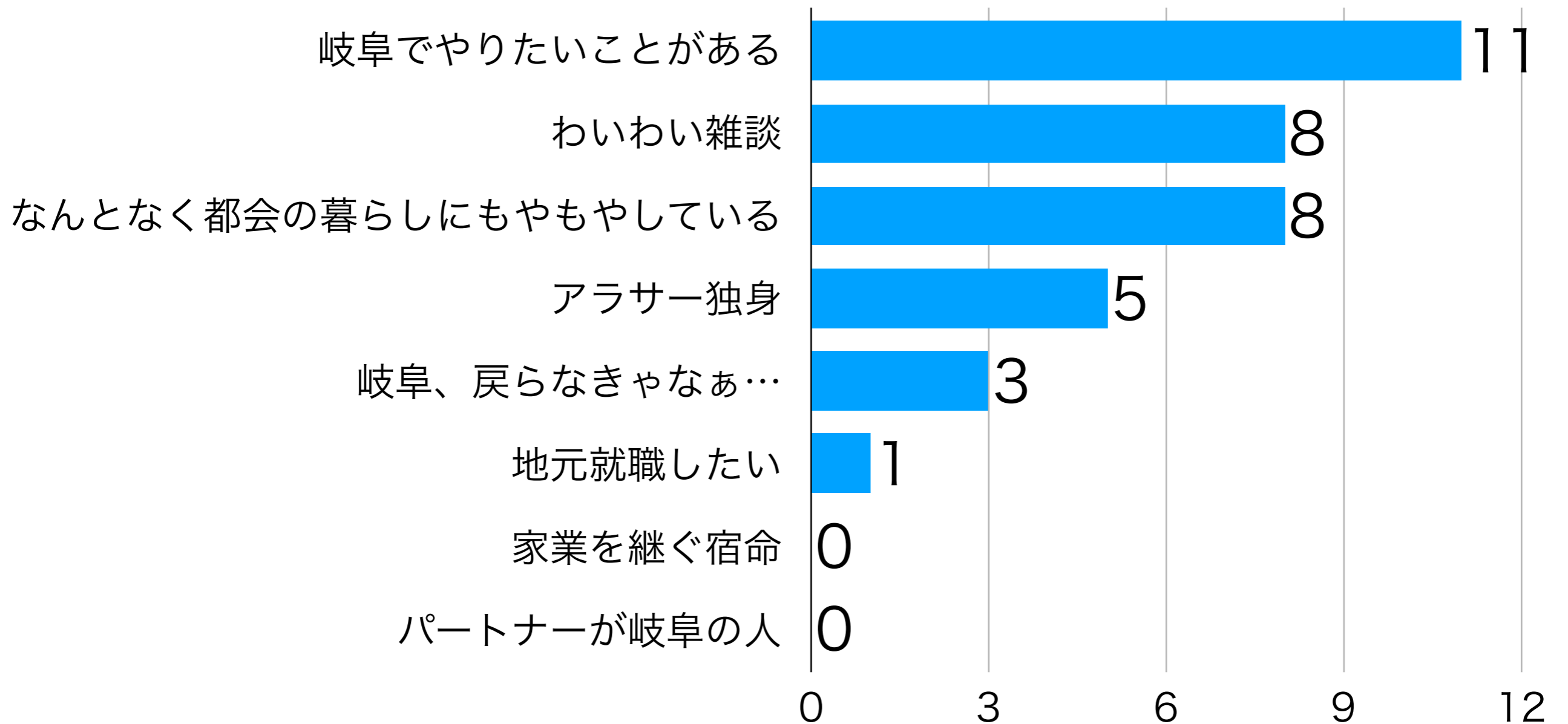
県外出身者・・・4名

## 現居住地

- ・東京都
- ・神奈川県
- ・千葉県
- ・愛知県
- ・静岡県
- ・兵庫県
- ・徳島県
- ・長崎県



# 参加テーマ



# 3 オンライン帰省ツアー（1泊2日）の開催

2020年12月27日（日）15:00～12月28日（月）9:00 @ZOOM



ぜひ  
ご覧になりながら  
お聞きください



QRコードから  
ウェブサイトへ  
飛べます！

# 企画ポイント

---

- ・一方的に話ばかり聞かせない
- ・画面を見続けなくていいコンテンツ設計
- ・いかに疑似体験をストレスなく提供するか

**オフラインコンテンツを  
オンラインにそのまま移行するのはNG**



# ツアー概要

岐阜県出身者・・・4名

県外出身者・・・3名

会社員／学生等

## 15:00～ おかえり！帰省会場へチェックイン

若は下呂にある奥村源在型の宿「ソラノイエ」。オンラインでチェックイン！  
「下呂」と「恵那」からその日の町並みを中継します。



## 16:00～17:30 新年に向けてしめ縄つくる！

事務に選んでいる岐阜セットの中から「ワラ」を手元に準備！  
ソラノイエの土間から、地域の人と一緒に作り方を配信します～！  
果たしてオンライン配信で、無事にしめ縄はできるのか…？！



## 18:00～19:00 晩ご飯作り

岐阜セットBoxから「鶏ちゃん」「お米」「キャベツ」を取り出してキッチンへ！  
（ごはんは事前に炊いておくほうが簡単かも…？）  
それぞれのおうちで晩ご飯を作りましょう！  
ソラノイエからも晩ご飯作りの様子を配信します。



## 19:00～21:00 いただきます！

人が集まった時によく鶏ちゃんを食べるのは下呂や中津川の文化なのかな？  
1年みんな、おつかれさま！一緒にご飯を食べながら1年間を振り返ったり、「今の暮らしのトセトセ」  
「夜息に帰ってやりたいこと」や相談などなど話せたらなと思います！



## 自宅で下呂温泉のそれぞれ就寝

岐阜セットBoxにある「下呂の入浴剤＆下呂温泉タオル」を持ってお風呂へGo！  
それぞれの家でぐっすり寝ましょう。



## 翌朝 7:00～9:00 チェックアウト

おはようございます！7時から岐阜朝オンラインには既に人がいます。  
広瀬の古本屋・徳文庫から朝の景色をお届け予定。予定です。  
岐阜セットの中からコーヒーを飲んだり、ごはんを食べたりしながらチェックアウト。  
仕事に行く人ら、休みの人ら、また岐阜に帰ってきてねー！



# 岐阜BOX

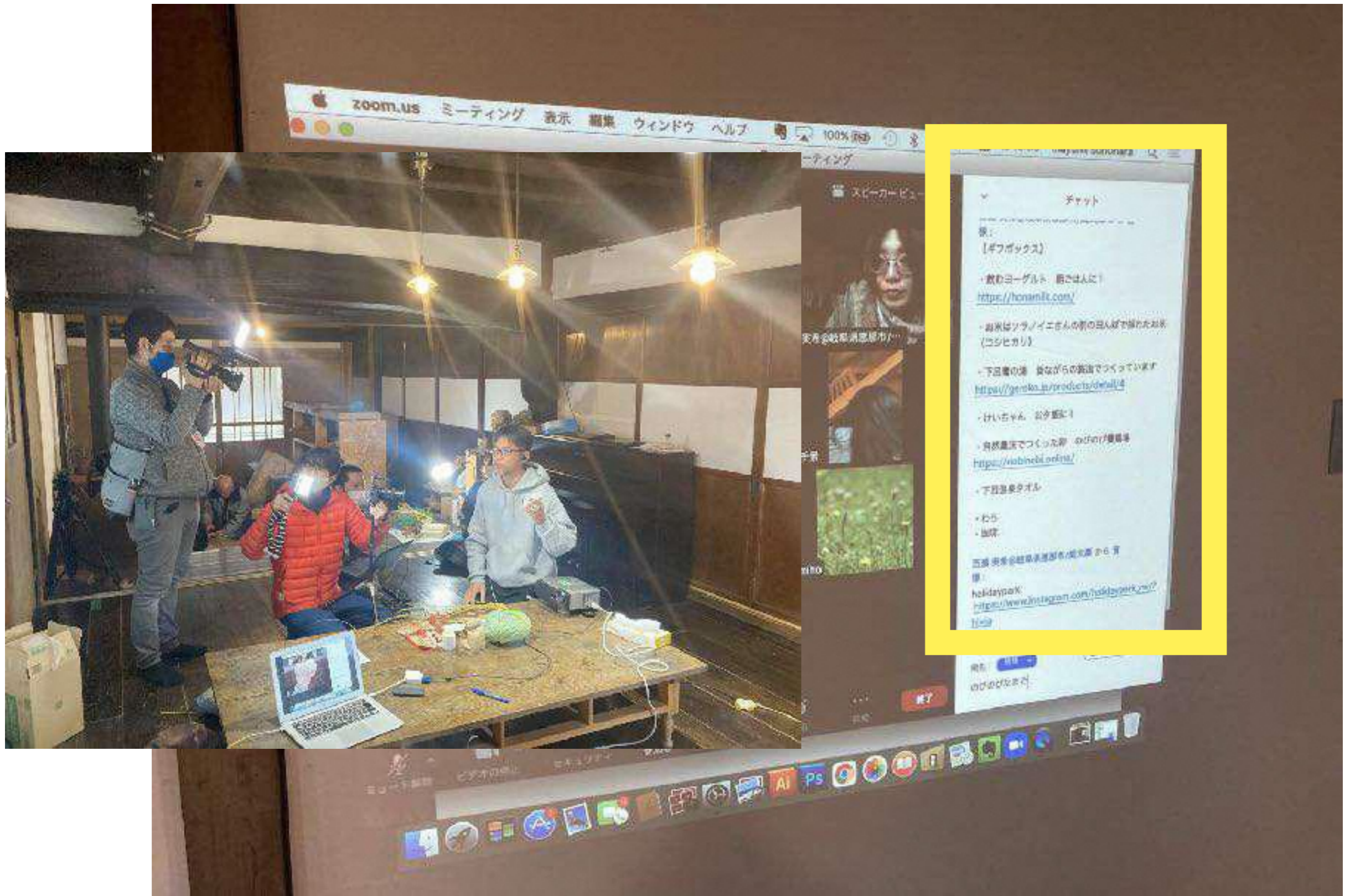


事前送付

参加者



Uターン者・移住者が作るものをなるべく選択



zoom.us ミーティング 表示 編集 ウィンドウ ヘルプ 100%

チャット

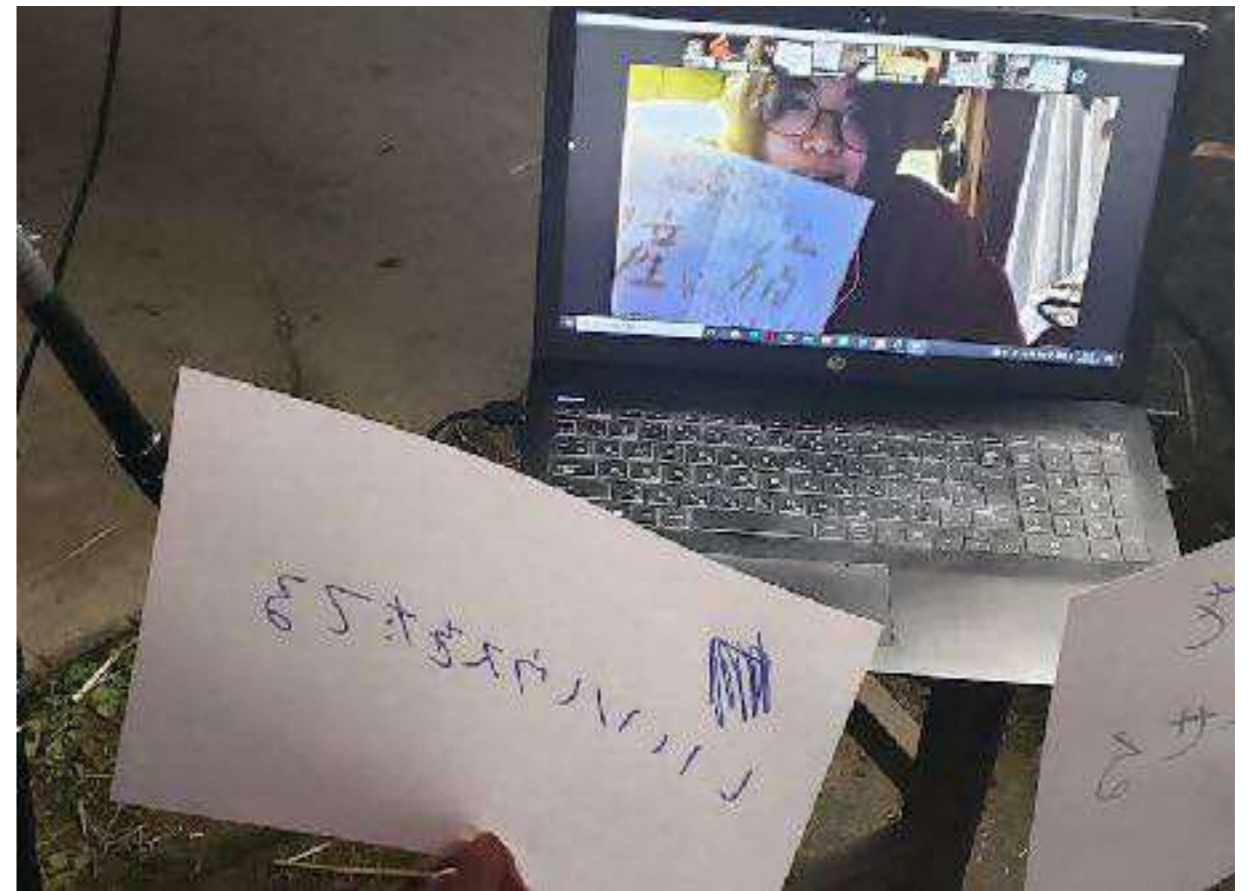
- 【ギフトボックス】
- ・数回ヨーグルト 届くはんに!
- <https://homanit.com/>
- ・お米はソラノイニさんの朝の田んぼで採れたお米 (コシヒカリ)
- ・下田産の湯 質ながらの湯湯でつくっています
- <https://genko.jp/products/detail/4>
- ・けいちゃん 公式通販!
- ・自然農法でつくった卵 卵の卵/豊後県
- <https://wabinetj.or.jp/>
- ・下田産タピオカ
- ・わか
- ・加味

五旗 豊後県産品推進部/産直部 から 買

helidaypaK  
<https://www.instagram.com/helidaypaK/>

Microsoft Edge, Microsoft Word, Microsoft Excel, Microsoft PowerPoint, Microsoft Teams, Microsoft OneDrive, Microsoft Outlook, Microsoft Access, Microsoft Word, Microsoft Excel, Microsoft PowerPoint, Microsoft Teams, Microsoft OneDrive, Microsoft Outlook, Microsoft Access







# 参加者より

テーマに分かれて少人数で話せたことが、今まで参加したどのオンラインイベントよりも気持ちが楽でよかった

あれこれ考えすぎるより、とにかく一歩踏み出してみようかなととても前向きになれた！

オンラインは相手との距離感が掴み辛かったが、今回は運営の方々が楽しく話してくれたおかげで、想像以上に楽しめた

知らなかった地元の魅力、温度感を知れた

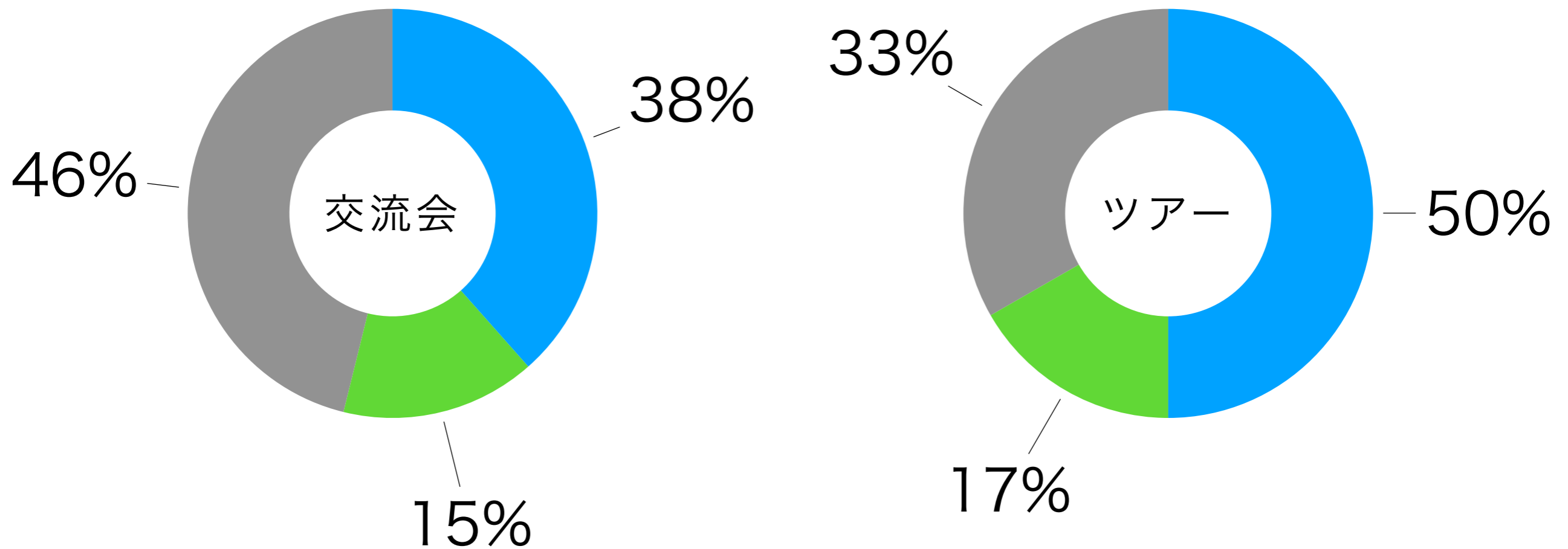
いつか岐阜に戻って地域に関わる仕事がしたくて参加した。岐阜を盛り上げようとする人たちの話が聞けて、自分も今から関わっていきたいと思った

オンラインでの会話だけでなく、一緒に料理を作ったり、温泉セットなどオフラインでの行動も伴っていた点が良かった



# アンケートより

- 今後岐阜にUターンまたは移住を考えている
- 仕事（リモート等含む）で岐阜に関わりたい
- イベント（オンライン含む）に参加して岐阜の人と合流したい





Uターン促進にあたって



## 個別相談やゆるやかなイベントの継続

Uターンを検討している人は、自分が移住者だとの認識が薄く、行政等が発信するイベントや情報には参加しない場合が多い。個々のSNSでの発信ややりとりを通じて、相談につながっているため、こうした個別でのフォローを継続していく。イベント開催時は、「移住」や「Uターン」といったタイトルを利用しないことも有効である。（今回であれば、Uターンを連想させる「帰省」、様々な人に出会いそうな連想をさせる「岐阜に新しい友達をつくろう」等のワードを使用した）

## 県外在住者との仕事の共有

Uターン時の不安要素として、Uターンして独立したいがどのように繋がりや仕事を作っていったらいいのか分からないという声があった。県外にいても可能な仕事であれば、仕事を依頼して岐阜への関わりを増やしてもらったり、イベント等においても、参加者ではなく企画者として積極的に変わってもらうことで、すでに岐阜にUターンした人とも知り合いになる機会となる。

## 二拠点滞在場所をつくる

フリーランス等、移動がしやすい人たちが、地元のクリエイターと知り合えたり、岐阜で仕事をつくっていく拠点となるよいな場所（シェアハウスやコワーキングスペースなど）を整備する。ハブとなる人材を通じて、地域企業と知り合ったり、集う人同士で仕事をシェアするなど、仕事につながる橋渡しが必要である。

## Uターン者同士が知り合える機会の提供

移住者を歓迎するムードはあるが、Uターン者に対しては未だ「せっかく都会に出たのに戻ってきてしまった人」という見方をされる場合がある。またUターン者同士がその後知り合いになる機会も少ない。

仕事や住居等、移住するための検討要素は多々あるが、気兼ねなく話せる相手や友人が1人でもかどろかは、移住後に楽しく暮らしていくために重要な要素である。今回のような交流会をすでにUターンした人に向けて行っていきつつ、これからUターンをする人を暖かく迎える気運作りが大切である。

# 他地域での活用 オンライン活用にあたって



**出身者は、自分が  
(広い意味での)**

**移住者に該当するとは認識していない  
まずは知り合いになることから**

今回、いずれのイベントも「出身者」をメインターゲットとして設定し実施した。結果として半数以上の参加者が岐阜県出身者であったが、イベント中の交流では「自分も戻ったら”移住者”なんですね」「その認識がそもそもなかった」との声は多く聞こえた。

また参加者は、既に岐阜県に戻っている知人・友人がいる、なんらかの活動等をしている人をSNSで既にフォローしてその人の発信を通じて岐阜の情報を得ている場合が多い傾向にあった。相談窓口経由でUターン促進していくよりも、現地の人といかにスムーズにつながりやすきるのが重要なポイントである。

# 具体的求人情報より 最初に何をしたか？ きっかけ・行動・プロセス共有を

イベント内では、参加者が会社から独立して仕事をする方法を聞く場面が多々見受けられた。Uターン検討者は、まずは「実家に戻る」という選択肢が可能なため住居の不安が低い一方で、都市部での仕事と同じ仕事ができるわけでない点を理解しているものの、「納得感」を持って取り組める仕事に出会えるかどうかUターン検討へ重要な比率を占めていることが分かった。起業したり就職先を見つけた方法、最初に何をしたか？どのように仕事を作っていたか？等、プロセスを知りたい傾向が強い。また、既にUターンしている人と話をすることで、温度感を知ったり、自分の中で折り合いをつけていくことで、Uターンを決断していく。今後イベントを開催するにあたってはこうしたテーマ設定も有効である。

# 都会暮らし違和感層



# やりたいことが明確層が 混在する前提に立ったコンテンツ設計を

帰省大交流会・オンラインツアーの参加者については、岐阜に戻って明確にやりたいことがある層と、都会に暮らしつづけることに違和感を持っている層が多かった。

オンラインイベントでは、参加者同士の空気感がわかりづらく、距離感が縮まらないことが多い。テーマを細かく設定したり、参加者に対して事前希望をとることで、初対面の参加者同士でも共通の話題で話ができる。またコロナ禍においては、共通のバックボーンを持ったもの同士が雑談や日常に関する話をしていくことで一体感が生まれることがわかった。

# 一方通行にしない 話をしてもらおう ”聞かせる”だけなら 別プラットフォーム活用を

オンラインイベントでは、現地側が内容を詰め込みすぎたり、一方的に地域紹介等をする時間が長くなってしまう場合がある。しかし、”交流イベント”へ参加する方々は、自分がなぜ移住やUターンを考えているか？や、登壇者や地域側の人に聞いてみたいことがあり参加をしている。紹介時間よりも交流時間をできるだけ多くとり、参加者自身に話をしてもらったり、質問に答えるような内容の方が、現地訪問へ繋がったりその後連絡を取り合う関係性が築きやすいことが分かった。またコロナ禍において人と雑談をする機会が減少していることから、目的やゴールを明確に提示した内容よりも、雑談要素の高い交流機会が求められていると言える。スピーカーの話聞かせるだけであれば、音声SNSプラットフォームを活用することが望ましい。

# オフラインと組み合わせた設計を

ツアーでは「岐阜セットBox」として、岐阜の産品を参加者に事前に送付した。オンラインイベントが飽和している今日、参加者層はオンライン上で完結するコンテンツに飽きを感じていたり、視線が常にオンライン画面上に向き疲労を感じたりしている。ものなどのオフラインで楽しめるコンテンツを用意することで、イベントの満足度を向上させることができた。また送付内容も、移住者やUターン者が生産しているこだわりのものを送付することで、関心度を高めることができる。送付内容は事前に写真付きで紹介することが望ましい。



# イベントに参加している イメージを持てる告知 連携した実施を

オンラインイベントは、対面のイベント以上にSNSでの周知や広報が必要になってくる。

今回のイベントは、いずれも約7割がSNSからの集客であった。

どの自治体も取り込みたいのは20代～40代であろうが、多くは日々SNSで無数の情報に触れている世代である。この一年間でオンラインイベントが当たり前のこととなったことで、中途半端なビジュアルで打ち出しているイベントや、誰が主体かわからないイベント、内容が不明なイベント等は参加者が集まらない傾向が顕著となっていることだろう。実施団体側からは行政主導におけるオンライン移住イベントの難しさを感じている声が振り返りとして聞かれると共に、各自治体も自分たちで積極的に主催するよりも、他団体主催のイベントと共同で行いたいという意見が多く見られた。ゆるやかな雑談の場の設定、その後のフォローなどが必要となるため、広報も含めて今後も官民が連携して事業を行っていくことが重要である。